

A会場（4F サミットホール 樹葉）

8:50～10:50 シンポジウム3【HTLV-1と関連疾患】 抄録 P. 83

座長：瀬戸山 充（種子島医療センター 皮膚科、宮崎大学 名誉教授）  
米倉健太郎（今村総合病院 皮膚科）

**SY3-1** HTLV-1 感染症～現状と課題～

梅北邦彦（うめきた くにひこ）  
宮崎大学 呼吸器・膠原病・感染症・脳神経内科

**SY3-2** HAM の臨床と病態

久保田龍二（くぼた りゅうじ）  
鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター 神経免疫学

**SY3-3** HTLV-1 と眼疾患

鴨居功樹（かもい こうじゅ）  
東京医科歯科大学 眼科

**SY3-4** 当科における HTLV-1 キャリアの皮膚症状の検討

野上京子（のがみ きょうこ）、成田幸代、西川陽太郎、持田耕介、天野正宏  
宮崎大学 皮膚科

11:00～11:50 特別企画 抄録 P. 63

座長：緒方 克己（古賀総合病院 皮膚科）

**SP** Paget 病七不思議

村田洋三（むらた ようぞう）  
神戸医療センター中央市民病院 皮膚科

12:00～13:00 ランチョンセミナー5【皮膚悪性腫瘍の過去・現在・未来】抄録 P. 108

座長：竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）  
宇原 久（札幌医科大学 皮膚科）

**LS5-1** 上皮系皮膚悪性腫瘍の治療のこれから

船越 建（ふなこし たける）  
慶應義塾大学 皮膚科

LS5-2

オブジーボ承認 10 周年記念レクチャー がん治療を変えたオブジーボ。免疫療法進歩の軌跡—それは 10 年前メラノーマから始まった—

山崎直也 (やまざき なおや)

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

共催：プリストル・マイヤーズスクイブ (株) / 小野薬品工業 (株)

13:10~15:10 CPC：リンフォーマ

抄録 P. 117

オーガナイザー：吉野 正 (岡山大学 名誉教授)

菅谷 誠 (国際医療福祉大学 皮膚科)

コメンテーター：谷口 恒平 (広島市民病院 病理診断科)

新井 栄一 (埼玉医科大学総合医療センター 病理部)

米倉健太郎 (今村総合病院 皮膚科)

濱田 利久 (国際医療福祉大学成田病院 皮膚科)

CPC-1

左眼瞼に生じた CD4/CD8 共陽性の末梢 T 細胞リンパ腫・非特定型の 1 例

久本晃義<sup>1</sup> (ひさもと てるよし)、坊木ひかり<sup>1</sup>、大森一星<sup>1</sup>、岡 謙太<sup>1</sup>、林 剛生<sup>1</sup>、吉崎麻子<sup>1</sup>、佐藤伸一<sup>1</sup>、宮垣朝光<sup>2</sup>

<sup>1</sup>東京大学 皮膚科、<sup>2</sup>聖マリアンナ医科大学 皮膚科

CPC-2

皮膚生検が早期診断の契機となった原発性皮膚進行性表皮向性 CD8 陽性細胞傷害性 T 細胞リンパ腫の 1 例

中西麻理<sup>1</sup> (なかにし まり)、丸山彩乃<sup>1</sup>、浅井 純<sup>1</sup>、加藤則人<sup>1</sup>、水原健太郎<sup>2</sup>、井上 祐<sup>2</sup>、塚本 拓<sup>2</sup>

<sup>1</sup>京都府立医科大学 皮膚科、<sup>2</sup>京都府立医科大学 血液内科

CPC-3\*

左 5 趾に細菌性骨髓炎と大細胞転化を伴う皮下浸潤病変を認めた菌状息肉症の 1 例

入江浩之<sup>1</sup> (いりえ ひろゆき)、中野宏明<sup>1</sup>、古田浩大<sup>1</sup>、遠藤雄一郎<sup>1</sup>、藤本正数<sup>2</sup>、神戸直智<sup>1</sup>、椛島健治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>京都大学 皮膚科、<sup>2</sup>京都大学 病理診断科

CPC-4

Indeterminate cell histiocytosis の 1 例

鈴木謙仁<sup>1</sup> (すずき のりひと)、安島さやか<sup>1</sup>、藤山俊晴<sup>1</sup>、島内隆寿<sup>1</sup>、北内裕里恵<sup>1</sup>、影山玲子<sup>1</sup>、田嶋瑞帆<sup>2</sup>、本田哲也<sup>1</sup>

<sup>1</sup>浜松医科大学 皮膚科、<sup>2</sup>富士市立中央病院 皮膚科

15:10~15:20 閉会式・次期会長挨拶

8:50~9:40 教育講演 4

抄録 P. 71

座長：宇原 久 (札幌医科大学 皮膚科)

**EL4** 土呂久ヒ素中毒症

出盛允啓 (いでもり まさひろ)

青木皮膚科

9:50~11:50 ワークショップ 2 【診療科横断的に血管肉腫を考える】

抄録 P. 92

総合司会：山崎 直也 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

川井 章 (国立がん研究センター中央病院 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科)

**WS2-1** 皮膚血管肉腫の治療戦略

大芦孝平 (おおあし こうへい)

埼玉県立がんセンター 皮膚科

**WS2-2** 整形外科医が扱う血管肉腫の臨床学的特徴

筑紫 聡<sup>1</sup> (つくし さとし)、吉田雅博<sup>1</sup>、濱田俊介<sup>1</sup>、安藤正志<sup>2</sup>

<sup>1</sup>愛知県がんセンター 整形外科、<sup>2</sup>愛知県がんセンター 薬物療法部

**WS2-3** 放射線治療の立場から見る血管肉腫

井垣 浩<sup>1,2</sup> (いがき ひろし)

<sup>1</sup>国立がん研究センター中央病院 放射線治療科、

<sup>2</sup>国立がん研究センター先端医療開発センター BNCT医療開発分野

**WS2-4** 血管肉腫の内科的マネジメント～腫瘍内科の立場から～

内藤陽一 (ないとう よういち)

国立がん研究センター東病院 総合内科

**WS2-5** 皮膚血管肉腫に対する抗 PD-1 抗体の効果について

藤澤康弘 (ふじさわ やすひろ)

愛媛大学 皮膚科

**WS2-6** 皮膚血管肉腫：パクリタキセル・TM5614 併用療法の安全性・有効性の検討：第Ⅱ相試験

藤村 卓 (ふじむら たく)

東北大学 皮膚科

**WS2-7** 切除不能皮膚血管肉腫に対するペムプロリズマブ+レンバチニブ併用療法の第Ⅱ相医師主導治験

緒方 大 (おがた だい)

国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

座長：福島 聡（熊本大学 皮膚科）  
藤澤 康弘（愛媛大学 皮膚科）

**LS6** BRAF 陽性メラノーマ診療における治療選択  
—患者支援における協同的意思決定（SDM）を考える—  
吉川周佐（よしかわ しゅうすけ）  
静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

**症例ディスカッション** 日本人 BRAF 陽性メラノーマにおける治療選択：  
エキスパートでも判断に迷う “Clinical Question”  
ディスカッサント：福島 聡（ふくしま さとし）  
熊本大学 皮膚科

**症例提示 1** 伊東孝通（いとう たかみち）  
九州大学 皮膚科

**症例提示 2** 吉川周佐（よしかわ しゅうすけ）  
静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ（株）

座長：緒方 大（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

**EL5** 皮膚悪性腫瘍と緩和医療  
内藤明美（ないとう あけみ）  
宮崎市郡医師会病院 緩和ケア科

座長：大塚 篤司 (近畿大学 皮膚科)  
藤原 進 (神戸大学 皮膚科)

- C-6-1\*** 頭部血管肉腫肺転移による難治性気胸に対し外科手術が奏功した 1 例  
浦田和美<sup>1</sup> (うらた かずみ)、金子彰良<sup>1</sup>、栗山春香<sup>1</sup>、澤村創一郎<sup>1</sup>、柏田香代<sup>1</sup>、  
梶原一亨<sup>1</sup>、福島 聡<sup>1</sup>、木村俊貴<sup>2</sup>、城臺安見子<sup>2</sup>、大隅祥暢<sup>3</sup>  
<sup>1</sup>熊本大学 皮膚科、<sup>2</sup>熊本大学 呼吸器内科、<sup>3</sup>熊本大学 呼吸器外科
- C-6-2** 明らかな紫斑を伴わず、鼻根部に巨大な腫瘤を形成した血管肉腫の 1 例  
吉田雅絵<sup>1</sup> (よしだ まさえ)、前賢一郎<sup>1</sup>、伊藤友章<sup>1</sup>、島井友佳子<sup>1</sup>、瀬下治孝<sup>1</sup>、  
入澤亮吉<sup>1</sup>、久保田靖子<sup>2</sup>、原田和俊<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>東京医科大学 皮膚科、<sup>2</sup>新百合ヶ丘総合病院 血液内科
- C-6-3\*** 右乳房放射線照射後血管肉腫に対してトラベクテジンが奏効した 1 例  
松崎恵里奈<sup>1</sup> (まつざき えりな)、梶原一亨<sup>1</sup>、荒木聖菜<sup>1</sup>、福島 聡<sup>1</sup>、富口麻衣<sup>2</sup>、  
末田愛子<sup>2</sup>、山本 豊<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>熊本大学病院 皮膚科、<sup>2</sup>熊本大学病院 乳腺内分泌科
- C-6-4\*** 残胃癌治療中に出現した cutaneous epithelioid angiosarcoma の 1 例  
清水知道 (しみず ともみち)、廣田綾子、高橋伸大、齋藤成実、徳山道生、近藤章生、  
山崎文和、馬淵智生  
東海大学 皮膚科
- C-6-5\*** 日単位で症状増悪を認めた頭部血管肉腫の 1 例  
岡田善輝 (おかだ よしき)、日浦 梓、江川昌太、深谷早希、福安厚子、林耕太郎、  
田中隆光、石川武子、鎌田昌洋、多田弥生  
帝京大学 皮膚科
- C-6-6** パゾパニブを長期継続使用した皮膚血管肉腫 3 例  
田中 了 (たなか りょう)、浦上揚介、梅田善康、日置紘二郎、益子礼人、佐藤徹子、  
中塚万莉、青山裕美  
川崎医科大学 皮膚科
- C-6-7** 皮膚転移をきたした外胚葉性間葉腫の 1 例  
島田邦彦<sup>1</sup> (しまだ くにひこ)、川平尚生<sup>1</sup>、寺田夏未<sup>1</sup>、指宿敦子<sup>1</sup>、東 裕子<sup>1</sup>、  
佐々木裕美<sup>2</sup>、金蔵拓郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学 皮膚科、<sup>2</sup>鹿児島大学 整形外科
- C-6-8** 叢状神経線維腫のセルメチニブ抵抗性の獲得と、悪性末梢神経鞘腫瘍に対する  
セルメチニブの抗腫瘍効果  
鈴木彩子 (すずき さやこ)、中條聡美、渡邊淑識、延山嘉眞  
東京慈恵会医科大学 皮膚科

座長：林 礼人（横浜市立大学 形成外科）  
浅井 純（京都府立医科大学 皮膚科）

**C-7-1** 巨大な fibrosarcomatous DFSP の 1 例

山科茉由<sup>1</sup>（やましな まゆ）、岡本千明<sup>1</sup>、小林里佳<sup>1</sup>、津田真里<sup>1</sup>、寺井沙也加<sup>1</sup>、  
清原隆宏<sup>1</sup>、鈴木健司<sup>2</sup>

<sup>1</sup>関西医科大学総合医療センター、<sup>2</sup>同 形成外科

**C-7-2\*** Cowden 症候群患者に生じた、隆起性皮膚線維肉腫腭転移の 1 例

角総一郎<sup>1</sup>（かど そういちろう）、前川武雄<sup>2</sup>、宮内ひとみ<sup>1,2</sup>、杉原夏子<sup>1</sup>、佐藤篤子<sup>1</sup>、  
神谷浩二<sup>1</sup>、柳沢佳子<sup>3</sup>、小宮根真弓<sup>1</sup>、大槻マミ太郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>自治医科大学 皮膚科、<sup>2</sup>自治医科大学さいたま医療センター、  
<sup>3</sup>自治医科大学 がんゲノム医療部

**C-7-3** Superficial CD34-positive fibroblastic tumor の 1 例

横山恵美<sup>1</sup>（よこやま めぐみ）、須山孝雪<sup>1</sup>、松木康讓<sup>1</sup>、片桐一元<sup>1</sup>、椎名愛優<sup>2</sup>、伴 慎一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科、<sup>2</sup>獨協医科大学埼玉医療センター 病理診断科

**C-7-4** 隆起性皮膚線維肉腫の切除マージンに対する病理学的検討

加藤裕史（かとう ひろし）、安井由希子、中川裕愛、吉満真紀、加納慎二、中村元樹、  
森田明理

名古屋市立大学 皮膚科

**C-7-5** 前頭部に生じた巨大な隆起性皮膚線維肉腫の 1 例

土居礼一（どい れいいち）、名嘉眞健太、白濱稔大、野見山留衣、川口 文、  
武藤一考、名嘉眞武國

久留米大学 皮膚科

**C-7-6** 治療法の選択に苦慮した Solitary fibrous tumor の 1 例

上田佳奈<sup>1</sup>（うえだ かな）、小野竜輔<sup>1</sup>、原田朋佳<sup>1</sup>、藤原 進<sup>1</sup>、福本 毅<sup>1</sup>、久保亮治<sup>1</sup>、  
由井光子<sup>2</sup>

<sup>1</sup>神戸大学 皮膚科、<sup>2</sup>神戸大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**C-7-7\*** 右腹部皮下に生じた Solitary fibrous tumor の 1 例

福良拓也（ふくら たくや）、江藤博文、田中愛実、持田耕介、天野正宏

宮崎大学 皮膚科

**C-7-8** 二期的に分層植皮で再建した上背部の悪性末梢神経鞘腫瘍

中島康爾（なかじま こうじ）、是川あゆ美

弘前総合医療センター 皮膚科

**C-7-9\*** 悪性顆粒細胞腫の 1 例

南百合菜<sup>1</sup>（みなみ ゆりな）、田中沙季<sup>1</sup>、柴田知之<sup>1</sup>、内堀貴文<sup>1</sup>、大嶋雄一郎<sup>1</sup>、  
渡辺大輔<sup>1</sup>、都築豊徳<sup>2</sup>

<sup>1</sup>愛知医科大学病院 皮膚科、<sup>2</sup>愛知医科大学病院 病理診断科

座長：為政 大幾（医誠会国際総合病院 皮膚科）

**LS7** メルケル細胞癌診療を考える永瀬浩太郎（ながせ こうたろう）  
ながせ皮膚科

共催：メルクバイオフーマ（株）

座長：藤澤 康弘（愛媛大学 皮膚科）

大芦 孝平（埼玉県立がんセンター 皮膚科）

**C-8-1\*** 強度変調回転放射線治療（VMAT）とパクリタキセル（PTX）との併用が奏効した頭部血管肉腫の1例北内裕里恵（きたうち ゆりえ）、島内隆寿、鈴木謙仁、影山玲子、本田哲也  
浜松医科大学 皮膚科**C-8-2** 当院における頭部顔面血管肉腫 36 例のまとめ面高俊和（おもだか としかず）、中村謙太、木庭幸子、奥山隆平  
信州大学 皮膚科**C-8-3** 再発性皮膚血管肉腫治療におけるパクリタキセル・PAI-1 阻害薬併用療法の安全性・有効性の検討藤村 卓<sup>1</sup>（ふじむら たく）、吉野公二<sup>2</sup>、中村元樹<sup>3</sup>、伊東孝通<sup>4</sup>、前川武雄<sup>5</sup>、神林由美<sup>1</sup>、  
松下茂人<sup>6</sup>、藤澤康弘<sup>7</sup>、山崎直也<sup>8</sup>、浅野善英<sup>1</sup><sup>1</sup>東北大学 皮膚科、<sup>2</sup>がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、<sup>3</sup>名古屋市立大学 皮膚科、<sup>4</sup>九州大学 皮膚科、<sup>5</sup>自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、<sup>6</sup>鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、<sup>7</sup>愛媛大学 皮膚科、<sup>8</sup>国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科**C-8-4** 皮膚血管肉腫に対する ONO-4538（ニボルマブ）の第Ⅱ相多施設共同非盲検非対照試験（AngioCheck 試験）藤澤康弘<sup>1</sup>（ふじさわ やすひろ）、並川健二郎<sup>2</sup>、石月翔一郎<sup>3</sup>、吉野公二<sup>4</sup>、為政大幾<sup>5</sup>、  
加藤裕史<sup>6</sup>、柳 輝希<sup>7</sup>、山本有紀<sup>8</sup>、内 博史<sup>9</sup>、大塚篤司<sup>10</sup><sup>1</sup>愛媛大学 皮膚科、<sup>2</sup>国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、<sup>3</sup>筑波大学 皮膚科、<sup>4</sup>がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、<sup>5</sup>大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、<sup>6</sup>名古屋市立大学 皮膚科、<sup>7</sup>北海道大学 皮膚科、<sup>8</sup>和歌山県立医科大学 皮膚科、<sup>9</sup>九州がんセンター 皮膚科、<sup>10</sup>近畿大学 皮膚科**C-8-5** 頭頸部血管肉腫患者において、全身治療前の平均血小板容積（MPV）/血小板数（PC）比は予後予測因子となる堀崎 健（ほりさき けん）、森章一郎、茜部穂波、太田真衣、秋山真志  
名古屋大学 皮膚科

C-8-6

血管肉腫遠隔転移予測マーカーとしての D-Dimer の有用性について  
増澤真実子 (ますざわ まみこ)、佐々木梓、玉森巴里、小原宏哉、天羽康之  
北里大学 皮膚科

5月11日(土)



座長：八田 尚人 (富山県立中央病院 皮膚科)  
中村 善雄 (慶應義塾大学 皮膚科)

**D-6-1** 所属リンパ節転移を経ずに頸部リンパ節転移を来たした外陰部 Paget 病の 1 例  
軽部大希 (かるべ だいき)、角総一郎、佐藤篤子、神谷浩二、小宮根真弓、  
大槻マミ太郎  
自治医科大学 皮膚科

**D-6-2** 外陰部パジェット病の診断に先行して他臓器・リンパ節・骨・皮膚への転移  
が急速に進行した 1 例  
入江絹子<sup>1</sup> (いりえ きぬこ)、高田満喜<sup>1</sup>、則川菜摘<sup>1</sup>、石川真郷<sup>1</sup>、菊池信之<sup>1</sup>、加藤恒孝<sup>2</sup>、  
山本俊幸<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>福島県立医科大学 皮膚科、<sup>2</sup>福島県立医科大学 消化器内科

**D-6-3** 肺腫瘍塞栓を来たした乳房外パジェット病の 1 例  
脇 裕磨<sup>1</sup> (わき ゆうま)、延山嘉真<sup>2</sup>、小川智広<sup>1</sup>、遠藤幸紀<sup>1</sup>、深澤 寧<sup>3</sup>、朝比奈昭彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>東京慈恵会医科大学柏病院 皮膚科、<sup>2</sup>東京慈恵会医科大学 皮膚科、  
<sup>3</sup>東京慈恵会医科大学 病理学

**D-6-4** 縦隔リンパ節にサルコイド反応を認めた外陰部乳房外 Paget 病  
横溝紗佑里<sup>1</sup> (よこみぞ さゆり)、池澤勝吾<sup>1</sup>、藤田周作<sup>1</sup>、石浦信子<sup>1</sup>、浅越健治<sup>1</sup>、  
瀧川雄貴<sup>2</sup>、藤原慶一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>岡山医療センター 皮膚科、<sup>2</sup>岡山医療センター 呼吸器内科

**D-6-5\*** 大腸癌の皮膚転移との鑑別を要した乳房外パジェット病の 1 例  
竹内杏奈 (たけうち あんな)、森 裕美、吉田雄一  
鳥取大学 皮膚科

**D-6-6** 二次性乳房外 Paget 病の鑑別に CDX-2/GCDFP-15 の免疫染色が有用で  
あった 3 例  
福井玲予 (ふくい れいむ)、三浦慎平、桃李英莉、鎌田啓文、井上 剛、中川倫代、  
渡辺彩乃、角田加奈子、大西正純、天野博雄  
岩手医科大学 皮膚科

**D-6-7\*** 内側大腿回旋動脈穿通枝皮弁で再建した外陰部乳房外パジェット病の 1 例  
熊澤憲一 (くまざわ けんいち)、新美雄大、和唐純平、武田 啓  
北里大学 形成外科・美容外科

座長：安田 正人 (群馬大学 皮膚科)  
 舩越 建 (慶應義塾大学 皮膚科)

**D-7-1** 根治切除不能な乳房外 paget 病に対しドセタキセル療法を行った 10 例のまとめ

坂本拓海<sup>1</sup> (さかもと たくみ)、菅 崇暢<sup>1</sup>、水野隼登<sup>1</sup>、田中暁生<sup>1</sup>、河合幹雄<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>広島大学 皮膚科、<sup>2</sup>かわい皮ふ科クリニック

**D-7-2** 一次治療としてパクリタキセルを投与した乳房外 Paget 病の 12 例

黒神 祐 (くろかみ ゆう)、文 省太、大江秀一  
 大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科

**D-7-3** 進行期乳房外 Paget 病に対するエリブリン単剤療法の効果：第 II 相臨床試験 初期登録症例の供覧

前田拓哉<sup>1</sup> (まえだ たくや)、得地景子<sup>1</sup>、堀江奈穂<sup>2</sup>、磯江敏幸<sup>2</sup>、伊藤陽一<sup>3</sup>、氏家英之<sup>1</sup>、柳 輝希<sup>1,4</sup>  
<sup>1</sup>北海道大学 皮膚科、<sup>2</sup>北海道大学病院 臨床研究開発センター、  
<sup>3</sup>北海道大学病院 医療・ヘルスサイエンス研究開発機構 プロモーションユニット、  
<sup>4</sup>琉球大学 皮膚科

**D-7-4\*** High tumor mutation burden 進行期乳房外 Paget 病に対し最終治療として pembrolizumab を使用した 1 例

小泉 滋<sup>1</sup> (こいずみ しげる)、土居礼一<sup>1</sup>、四十竹麗<sup>1</sup>、雷 小峰<sup>1</sup>、和泉光晃<sup>1</sup>、高井彩也華<sup>1</sup>、森 龍彦<sup>1</sup>、岸 晶子<sup>2</sup>、中村泰大<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、<sup>2</sup>虎の門病院 皮膚科

**D-7-5** 乳房外パジェット病 75 例におけるがん遺伝子パネル検査結果の解析

岩澤億斗 (いわさわ おくと)、宮川卓也、尾松 淳、齊藤日向子、川嶋久雄、淡路健太郎、三宅知美、山田大資、住田隼一、佐藤伸一  
 東京大学 皮膚科

**D-7-6\*** 外陰部乳房外パジェット病における電子線治療の新視点：ワセリンの活用

金子諒平<sup>1</sup> (かねこ りょうへい)、村松博之<sup>2</sup>、赤石諭史<sup>1</sup>、小川 令<sup>3</sup>、桑原大彰<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本医科大学 武蔵小杉病院 形成外科、<sup>2</sup>日本医科大学 武蔵小杉病院 放射線治療科、  
<sup>3</sup>日本医科大学 形成外科・再建外科・美容外科

座長：宮垣 朝光 (聖マリアンナ医科大学 皮膚科)

**LS8** 皮膚 T 細胞リンパ腫の診断・治療アップデート

濱田利久 (はまだ としひさ)  
 国際医療福祉大学成田病院 皮膚科

共催：武田薬品工業 (株)

座長：清原 祥夫（静岡県立静岡がんセンター 皮膚科）  
持田 耕介（宮崎大学 皮膚科）

**D-8-1** 基底細胞癌や悪性黒色腫のダーモスコピー像を呈した乳癌局所再発の 1 例

加倉井真主<sup>1</sup>（かくらい まさかず）、本田理恵<sup>1</sup>、三島英行<sup>2</sup>、伊藤周作<sup>1</sup>

<sup>1</sup>日立総合病院 皮膚科、<sup>2</sup>日立総合病院 乳腺甲状腺外科

**D-8-2** 唾液腺癌が疑われた下顎部悪性腫瘍の 1 例

西盛信幸<sup>1</sup>（にしもり のぶゆき）、瀧上 駿<sup>2</sup>、藤田英樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>日本大学 皮膚科、<sup>2</sup>日本大学 耳鼻咽喉科

**D-8-3\*** 腭頭部癌の皮膚転移の 1 例

朴 愛理<sup>1</sup>（ぱく えり）、横山 正<sup>2</sup>、長田真一<sup>1</sup>

<sup>1</sup>日本医科大学多摩永山病院 皮膚科、<sup>2</sup>日本医科大学多摩永山病院 外科

**D-8-4\*** 皮膚浸潤を伴う人工肛門部癌に対して人工肛門を温存し治療した 1 例

宮田夏実<sup>1</sup>（みやた なつみ）、山尾 健<sup>1,2</sup>、宮田明久生<sup>3</sup>、市原寛大<sup>4</sup>、西尾卓哉<sup>1,2</sup>、  
庄中達也<sup>5</sup>、上小倉佑機<sup>6</sup>、青木直子<sup>6</sup>、谷野美智枝<sup>6</sup>、林 利彦<sup>1</sup>

<sup>1</sup>旭川医科大学 形成外科、<sup>2</sup>北海道大学 形成外科、<sup>3</sup>旭川赤十字病院 形成外科、

<sup>4</sup>札幌徳洲会病院 形成外科、<sup>5</sup>旭川医科大学 外科学講座 消化管外科、

<sup>6</sup>旭川医科大学 病理部

**D-8-5** 人工肛門閉鎖部位の粘膜遺残より生じたと考えられた皮膚大腸癌の 1 例

中島理子<sup>1</sup>（なかじま みちこ）、齋藤晋太郎<sup>1</sup>、中島瑞穂<sup>1</sup>、山崎咲保里<sup>1</sup>、安田正人<sup>1</sup>、  
正田晃基<sup>2</sup>、牧口貴哉<sup>2</sup>、大曾根勝也<sup>3</sup>、小川博臣<sup>3</sup>、茂木精一郎<sup>1</sup>

<sup>1</sup>群馬大学 皮膚科、<sup>2</sup>群馬大学 形成外科、<sup>3</sup>群馬大学 消化管外科

**D-8-6** COVID-19 流行前後での皮膚がん手術件数の推移

青木恵美（あおき めぐみ）、松下茂人、西原克彦、山本宗太郎、山村健太郎、

小森崇矢、佐々木奈津子、日高太陽、坂本翔一、平野 唯

鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科

座長：福本 隆也 (福本皮フ病理診断科)  
高井 利浩 (兵庫県立がんセンター 皮膚科)

**E-6-1** 腋窩原発 signet-ring cell/histiocytoid carcinoma の 1 例

梅木真由子<sup>1</sup> (うめき まゆこ)、佐藤崇興<sup>1</sup>、多田瑞穂<sup>1</sup>、山手朋子<sup>1</sup>、上原 幸<sup>2</sup>、  
清水史明<sup>2</sup>、西田陽登<sup>3</sup>、波多野豊<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大分大学 皮膚科、<sup>2</sup>大分大学 形成外科、<sup>3</sup>大分大学 診断病理学

**E-6-2** Sweat-gland carcinoma with neuroendocrine differentiation (SCAND) の 2 例

望月亮佐 (もちづき りょうすけ)、宮崎梨香子、南 裕介、後藤啓介、高井利浩  
兵庫県立がんセンター 皮膚科

**E-6-3** 右上前腸骨棘部に発生し、異所性乳房外 Paget 病と鑑別を要した低分化脂腺癌の 1 例

鈴木 毅<sup>1</sup> (すずき つよし)、大塚正樹<sup>1</sup>、近藤峻平<sup>1</sup>、後藤啓介<sup>2</sup>、戸倉新樹<sup>1</sup>

<sup>1</sup>中東遠総合医療センター 皮膚科・皮膚腫瘍科、<sup>2</sup>中東遠総合医療センター 病理診断科

**E-6-4** 同一病変内に老人性脂腺増殖症と superficial sebaceous carcinoma を認めた 1 例

柿山真喜子 (かきやま まきこ)、河村麻佑、金子高英、高森建二、須賀 康  
順天堂大学浦安病院 皮膚科

**E-6-5** 胸部に生じた皮膚粘液癌の 1 例

近藤あきほ<sup>1</sup> (こんどう あきほ)、須貝達朗<sup>1</sup>、森章一郎<sup>2</sup>、神谷怜志<sup>1</sup>、野田絵織<sup>1</sup>、  
藤城里香<sup>1</sup>、山田元人<sup>1</sup>

<sup>1</sup>豊橋市民病院 皮膚科、<sup>2</sup>名古屋大学 皮膚科

**E-6-6** 化学療法に抵抗性であった悪性皮膚混合腫瘍の 1 例

水野隼登<sup>1</sup> (みずの はやと)、菅 崇暢<sup>1,2</sup>、村上絵美<sup>1</sup>、松原大樹<sup>1</sup>、田中暁生<sup>1</sup>

<sup>1</sup>広島大学 皮膚科、<sup>2</sup>県立広島病院 皮膚科

**E-6-7** 愛知県内 2 施設の皮膚付属器癌の治療経験

森章一郎<sup>1,2</sup> (もり しょういちろう)、山田元人<sup>2</sup>、堀崎 健<sup>1</sup>、茜部穂波<sup>1</sup>、太田真衣<sup>1</sup>、  
奥村真央<sup>1</sup>、須貝達朗<sup>2</sup>、秋山真志<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋大学 皮膚科、<sup>2</sup>豊橋市民病院 皮膚科

座長：清原 隆宏（関西医科大学総合医療センター 皮膚科）  
前川 武雄（自治医科大学附属さいたま医療センター 皮膚科）

**E-7-1** 右腋窩に生じたアポクリン腺癌の 1 例

片岡紅音（かたおか あかね）、日浦 梓、江川昌太、深谷早希、福安厚子、林耕太郎、  
田中隆光、石川武子、鎌田昌洋、多田弥生  
帝京大学 皮膚科

**E-7-2** 肩甲帯離断術を施行した左腋窩アポクリン腺癌の 1 例

岩永 聡<sup>1</sup>（いわなが あきら）、鍛塚 大<sup>1</sup>、野村賢太郎<sup>2</sup>、室田浩之<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科、<sup>2</sup>長崎大学病院 整形外科

**E-7-3** 脂腺細胞様の細胞形態像を呈したアポクリン癌の 2 例

西原克彦<sup>1</sup>（にしはら かつひこ）、佐々木奈津子<sup>1,2</sup>、後藤啓介<sup>1,3</sup>、平木 翼<sup>3</sup>、吉川周佐<sup>4</sup>、  
青木恵美<sup>1</sup>、山本宗太郎<sup>1</sup>、松下茂人<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、<sup>2</sup>産業医科大学病院 皮膚科、  
<sup>3</sup>静岡県立静岡がんセンター 病理診断科、<sup>4</sup>静岡県立静岡がんセンター 皮膚科

**E-7-4** 外陰部の巨大なアポクリン腺癌

芳賀貴裕<sup>1</sup>（はが たかひろ）、高橋拓矢<sup>1,2</sup>、金城賢吾<sup>1,3</sup>、瀬川康二郎<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>気仙沼市立病院 皮膚科、<sup>2</sup>東北大学病院 皮膚科、<sup>3</sup>みやぎ県南中核病院 皮膚科

**E-7-5\*** がん遺伝子パネル検査により MSI-High が判明した臀部脂腺癌の 1 例

高地由奈<sup>1</sup>（こうち ゆうな）、川原 祐<sup>1</sup>、山本洋輔<sup>1</sup>、高地祐輔<sup>2</sup>、岸本 充<sup>2</sup>、猪爪隆史<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学 皮膚科、<sup>2</sup>千葉大学大学院 病態病理学

**E-7-6** 遺伝子パネルを参考に TS-1 およびペンブロリズマブで治療し、奏効した転移性エクリン汗孔癌の 1 例

寺尾 茜（てらお あかね）、田口良吉、福田知雄  
埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科

座長：田中 勝（杏林大学 皮膚科）

**LS9** 合併症を伴う乾癬患者の全身療法～HTLV-1 キャリアへの対応を含めて～

米倉健太郎（よねくら けんたろう）  
今村総合病院 皮膚科

共催：サンファーマ（株）